

再び恐怖と緊張走る



不安な表情を浮かべる避難者（7日午後11時40分、ケー・ウエーブ）

ライフラインまた寸断 復旧に水さす強震 7日深夜

東日本大震災からもうすぐ1カ月という7日午後11時32分ごろ、牡鹿半島沖を震源とするマグニチュード7.4（推定）の地震が発生し、気仙沼市で震度5強の強い余震を観測した。ライフラインが復旧して飲食店や事業所が営業を再開するなど、ようやく前を向いて歩き始めていたが、市内全戸が再び停電し、避難所生活に戻った市民もいる。

気仙沼で震度5強

仙台管区気象台によ、東沖約40キロ付近で、県北部で6強、気仙沼と、震源は牡鹿半島深さは約40キロ。震度は市赤岩で5強など、東

東日本大震災

日本大震災と同規模の揺れを観測した。県沿岸には午後11時34分に津波警報が発令されたが、津波は観測されなかった。宮城県沖地震の想定と同じだったが、県沖地震に該当するかどうかは政府の地震調査委員会で判断するとしている。

この地震で青森、岩手、秋田の全域のほか、気仙沼市内でも全

避難所は一時騒然

市体育館天井の一部落下

「またか」「津波は大丈夫か。震度5強を記録した気仙沼市内の避難所では、まだまだ多くの人が避難生活を送っているが、突然襲った深夜の激震に再び恐怖と緊張が走った。同体育館は午後8時



給油客が殺到し一般販売を締め切るスタンド

スタンドが混雑

この地震の影響で、再びガソリンの供給や生活物資不足への不安感が広がり、気仙沼市内のガソリンスタンドや量販店には早朝から長い列ができた。また、開店にこぎ着けた店や飲食店も停電した。また震災直後の

刻みの縦揺れが1分くらい続いた。避難所というところもあり、みんな比較的冷静だった。また大きな揺れが来るなんて、とうんざりした様子。子供たちも非常灯の明かりを頼りに、不安な一夜を過ごした。中学2年生の女子生徒は「寝ようとしていた矢先だった。キャーとい

戸が停電。震災から停電が続いていた鹿折、唐桑、大島の一部で電力が復旧したばかりだったが、再び停電生活に戻った。

節水呼び掛け
節水呼び掛け
節水呼び掛け
節水呼び掛け

ように、3、4時間待ちのようになっている。また、震災直後のように、一部地域は配水池にある分の水で対応することになるため、市では節水を呼び掛けている。